

名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会
平成23年度 エネルギーに関する文理融合研究合同成果報告会
第7回 名大発一省エネ推進と地球温暖化防止

昨年3月11日の東日本大震災による福島原子力発電所の災害発生により、福島だけではなく、保安点検に入った日本各地の原子力発電所も休止状態に追い込まれ、再開が困難な状況になり、全国的に電力不足になっております。今年は、国内全ての原子力発電所が休止になると予測され、今夏は昨年よりもいっそう厳しい電力状況になることが想定されています。東海地方では、中部電力の浜岡原子力発電所が、政府の要請で休止しましたが、昨年の夏は何とか計画停電に追い込まれることはありませんでした。名古屋大学も総長が緊急節電声明を出し、全学的に節電に取り組んでいるところです。しかし、その節電効果は、東京電力や東北電力管内の国立大学等に比較すると、まだ充分でなかったように感じます。今回の未曾有の災害で、節電や省エネに対する認識がより高まったことは事実であり、名古屋大学では昨年の夏以降も節電対策を継続しています。

また、名古屋大学では、総長がCO2排出量を2005年比で2014年末までに20%以上削減することを社会に表明しています。このことから、より一層の省エネ対策の強化・促進を図る良いチャンスとして捉え、このEM研究・検討会の活動を活発にする必要を改めて感じるどころであり、今年で7回目を迎える研究成果報告会では、大学として社会に対して範を示せる二酸化炭素削減の具体的施策の提案や調査・研究報告をしていきたいと考えています。

この研究・検討会が、今夏の節電に少しでも役に立てれば幸いです。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：平成24年3月9日（金） 13:00-17:00

会場：名古屋大学理学南館大講義室（坂田・平田ホール）

【交通案内】 地下鉄名城線名古屋大学駅

研究成果報告：エネルギーマネジメント研究・検討会

【 プ ロ グ ラ ム 】

- | | | |
|---|----------------|--|
| 13:00- 報告会開催にあたって 「実験装置の省エネ事例」 | 藤井 良一 南保 政弘 | (施設・安全担当理事) (文部科学省大臣官房文教施設 企画部参事官補佐) |
| 「名古屋大学におけるエネルギー削減への取組と エネルギーマネジメント研究・検討会の役割」 | 片山 正昭 | (エコトピア科学研究所) |
| 「管理一体型ESCO事業と3ESCO事業の成果」 | 山口 博行 | (名古屋大学参事) |
| 「室内における照明及び空調の使い方」 | 吉田友紀子 | (環境学研究科) |

《 休 憩 》

- | | | |
|-----------------------------------|-------|--------------|
| 「省エネ Web/全学消費電力の見える化」 | 河口 信夫 | (工学研究科) |
| 「消費者電力の見える化が省エネ意識および 行動に与える影響」 | 竹橋 洋毅 | (エコトピア科学研究所) |
| 「大学施設におけるコミッションングの試み」 | 奥宮 正哉 | (環境学研究科) |
| 「緑の知の拠点」事業について | 森川 高行 | (環境学研究科) |

報告会終了後、17:20より豊田講堂中2階ロビーで《意見交換会》を開催します。

地球環境保全や省エネ関連の設備・機器・資材の展示 12時～16時まで

於：理学南館セミナー室部分

※展示を希望される企業等の方は別紙募集案内及び申込書によりご応募下さい。

主催：名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会

申込先：名古屋大学施設管理部施設企画課総務掛 小宮山 sis-sou@post.jimu.nagoya-u.ac.jp